

高山教区・高山別院 宗祖親鸞聖人七百五十回御遠忌基本計画（案）

1 宗祖御遠忌法要の厳修について

- ① 法要名称 高山教区・高山別院 宗祖親鸞聖人七百五十回御遠忌法要
- ② 厳修年月日 2019年5月10日（金）～12日（日）（二昼夜）
- ③ 併修法要 高山別院本堂屋根等御修復落成慶讃法要
- ④ 同朋唱和（門徒参加型の法要の厳修）
門徒が参詣席でお勤めを聞くという受け身の儀式ではなく、門徒自らが出仕の法中と『正信偈』を声高らかに唱和する儀式を行う。なお、各組・寺院単位で参加者を募集し練習を行う。
- ⑤ 子ども御遠忌法要
御遠忌法要を前後して「讃仰期間」を設け、子ども御遠忌法要をお勤めする。これに向けて、教区内の子ども会の育成を推進する。
- ⑥ 各組による讃仰事業への取り組み

2 宗祖御遠忌「法要教化」の取り組みについて

【教化の取り組みが表現されていく御遠忌法要を】

「真宗同朋会運動」発足から半世紀を迎え、宗祖 750 回御遠忌に向けて進んでいく我々は、「真宗同朋会運動」の願いが表現されていく御遠忌法要を厳修するのだということを、まず確かめる必要があるのではないか。

このことを踏まえ、このたびの御遠忌法要については、教化の取り組みが表現されていくような法要厳修となることを目指し、計画及び立案・実施にあたるものとする。

【御遠忌に向けての協議の中で発せられた課題】

御遠忌に臨むにあたって、教区同朋会議及び御遠忌懇談会で多くの声として、下記の2点があげられている。これらについては、今後、御遠忌法要教化及び経常の教化事業において大切な視点として取り上げていく。

① 「報恩講」について

御遠忌に関する意見交換の場で、高山教区の「報恩講」の衰退が多く語られた。

2012年度に実施された教勢調査において、高山教区の「お内仏での報恩講」のお勤めが低率・減少傾向であることが明らかとなっている。このことは2014年度教区教化研修計画にも示されており、「家庭におけるお内仏を中心とした聞法道場の確立」として課題が掲げられている。

「報恩講教団」として伝統されてきた宗門の歴史を考えれば、毎年の報恩講の積み重ねと御遠忌法要は別の流れにあるものではなく、あらためて、宗祖御遠忌法要推進の取り組みとして、「報恩謝徳の御仏事としての報恩講」を課題としていくことが求められている。

② 「伝える」「伝わる」ということ

核家族化・少子化の中で関係性が希薄化する現代、家庭においても、社会においても、今まで伝わってきた様々なことが伝わらなくなってきた。私たちまで伝わったものを次の世代に如何に伝えていくかが課題である。

【教区御遠忌テーマについて】 「雑行を棄てて本願に帰す -このままでいいのか 今の世、この私-」

【御遠忌法要教化事業（同朋唱和・子ども報恩講の他に）】

- ① 大谷派勤行集(赤本)の現代語訳(勤行本の発行) 御遠忌懇志金進納者への記念品。
- ② 荘川桜の本山移植

【広報について】

- ① 『ひだ御坊』紙を中心に展開。
- ② 近隣（町内や商店街）への連携協力をお願いしていく。

3 御遠忌記念事業「高山別院本堂等御修復工事計画」 一期・二期に分割して実施

高山別院が飛騨真宗門徒の中心道場として後世にわたって相続され、地域の方々や観光客をはじめ様々な人達にも開かれた別院を実現するため、また、安全安心な別院本堂とし整備すべく、宗祖御遠忌記念事業として御修復工事を行う。

なお、屋根修復を急務とし、工事については二期に分けて実施する。

【高山別院本堂等御修復工事主な内容】

《第一期工事》工事期間：2016年4月～10月末

- ① 本堂屋根の葺き替え（銅板葺き）
- ② 庫裡改修工事
屋内便所（書院隣室内に1ヶ所造作）・炊事場改修（床張替え、流し台交換、窓サッシ）

《第二期工事》工事期間：2018年2月～12月末

- ① 本堂耐震補強工事
- ② 付帯工事
A) 本堂内外装改修工事
中性化防止塗装塗・本堂照明・外陣サッシ・畳表替・放送設備設置（全館） 他
B) 御坊会館改修工事
東側便所改修・講師用便所改修・パブリックスペース 他
- ③ 内陣荘厳修復工事

【御修復工事設計監理契約】 <受託者> 白鳥設計事務所 代表者 白鳥 修

【施工業者の選定】 第一期工事については明年2月末までを目途に、御遠忌委員会記念事業部会において選定作業を行う。

4 御遠忌特別会計及び募財計画

- ① 会計期間 2016年1月1日～2022年6月30日（6年6カ月 募財期間は前年末までの6年間）
- ② 予算総額 4億9千万円（内 記念事業費 4億4千530万円）
- ③ 懇志金
A) 御遠忌懇志金 4億円（各寺院に門徒戸数割）
B) 住職・寺族懇志金 1千580万円（1か寺：20万円）
C) 特別懇志金 500万円
D) 一般懇志金 200万円
- ④ 募財目標 1年目：30% 2年目：30%（累計60%） 3年目15%（累計75%）
4年目：10%（累計85%） 5年目：10%（累計95%） 6年目：完納

【別院本堂の耐震調査診断及び判定について】 2012年10月～2013年3月

白鳥建築設計事務所により、2012年10月から本堂の構造調査・耐震診断が行われた（調査内容：コンクリート強度及び中性度調査、構造計算による調査）。

【耐震診断結果及び判定】

結果は、I S値が0.19から0.56と算定され、「**耐震性能は劣るので被害を防ぐため相当な補強が必要と思われる**」と診断された。

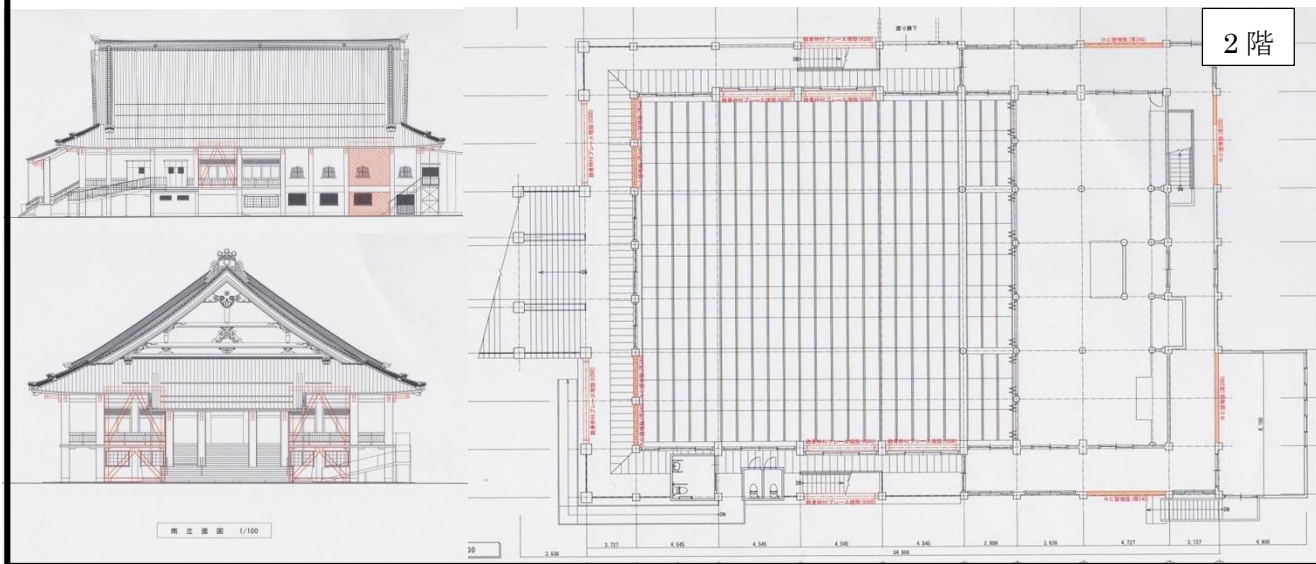
この診断結果について、2012年12月には「社団法人 岐阜県建築士事務所協会」により耐震診断の判定が行われ、「**耐震診断の結果は〈適切〉である**」と判定がなされた。

2013年1月、「御遠忌記念事業部会」において、耐震診断結果及び判定結果が報告され、さらに、耐震補強計画の作成に進むことが確認され、白鳥建築設計事務所により「耐震補強計画」が作成された。<下記>

《I S値》 構造耐震指標（I S）とは、耐震診断により建物の耐震性能を示す指標で、I S値0.6以上で新耐震基準相当の耐震性能を満たすとされている。なお、学校施設のI S値は0.7以上。

耐震補強計画（一部抜粋） ※赤の部分が補強箇所

R C壁増設補強・鉄骨ブレース増強補強・外周部屋根庇支持補強・屋根裏鉄骨トラス補強。
この補強計画についても、「社団法人 岐阜県建築士事務所協会」による耐震補強計画判定が行われ、「**補強計画は〈適切〉である**」と判定が示されている。



高山教区・高山別院 宗祖親鸞聖人七百五十回御遠忌特別会計 収入支出予算（案）

2016年1月1日～2020年6月30日

歳入総額 ￥490,000,000-

歳出総額 ￥490,000,000-

収入の部

款 項 目	予 算 額	備 考
1. 懇志金	422,800,000	門徒・住職寺族懇志 他
2. 法要御香儀	6,000,000	
3. 冥加金	4,650,000	帰敬式・稚児・祝賀会
4. 回付受金	56,500,000	教区・別院
5. 雑収入	50,000	
合 計	490,000,000	

支出の部

款 項 目	予 算 額	備 考
1. 法要教化費	31,700,000	法要費・教化費
2. 記念事業費	445,300,000	別院屋根御修復・耐震補強費他
4. 奨励費	1,500,000	記念品
5. 広報記録費	3,120,000	ひだ御坊特別号・ポスター他
6. 事務所費	2,500,000	通信費・会議費 他
7. 予備費	5,880,000	
合 計	490,000,000	

高山教区・高山別院
宗祖親鸞聖人御遠忌通信

—宗祖御遠忌・本堂御修復に向けて— <各組説明会用・御遠忌御修復決意集会用>

第2号 2015年10月14日 <発行> 高山教区・高山別院 宗祖御遠忌推進委員会

高山教区・高山別院 宗祖御遠忌法要・別院本堂御修復に向けて

高山教区・高山別院では、2011（平成23）年の宗祖親鸞聖人750回御遠忌法要後、教区・別院の御遠忌法要に向けて、改めて歩みを始めました。

特に、別院本堂屋根の破損が著しいことから、先ずもって本堂改修についてどのような方向で臨むのが課題となり、屋根修復とともに耐震補強、さらに新築案も併せて検討がなされ、2013年には各組で説明会を実施し意見聴取がなされました。これを踏まえ、院議会内に「本堂改修専門委員会」を設置し、その審議を経て2014年2月27日の院議会懇談会において屋根改修及び耐震補強工事を実施するとの答申がなされ了承されました。

しかしながら、その後も耐震補強工事の実施については様々な意見が出され、2014年7月に新たに設置された「教区・別院 御遠忌推進委員会」においても重ねての検討が行われ、最終的には、本堂屋根改修、耐震補強工事及び附帯工事を実施することが、記念事業部会において了承されました。

また、御遠忌法要厳修及び法要教化のあり方につきましても、同委員会の法要教化部会において討議検討が重ねられ、先頃ようやくその計画案がまとめられたことでもあります。

当委員会といたしましては、これらの計画内容を「御遠忌基本計画（案）」として取りまとめさせていただきましたが、各組説明会におきまして、また別院報恩講満日中後に開催を予定いたしております「御遠忌・御修復決意集会」においてご説明をさせていただきご承諾をいただいております。そのうえで、御遠忌推進委員会総会、院議会、教区会及び教区門徒会の議決を経て、年内には正式決定させてまいりたいと考えております。

今後、教区・別院が一体となり、別院本堂の御修復を成し遂げ、宗祖親鸞聖人750回御遠忌法要が厳修されますことを勝縁に、ますます未来永劫にわたって高山別院（ひだ御坊）が飛驒の地において真宗念仏の中心道場として機能し、地域に開かれた心交わる場となりますことを共に願いとしてまいりたいと、何卒、ご理解のほどお願い申し上げます。

高山教区・高山別院 宗祖親鸞聖人七百五十回御遠忌推進委員会 統括本部

【別院本堂屋根・瓦の破損及び雨漏りの状況】



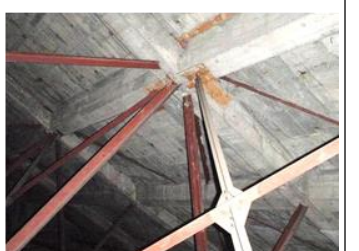
屋根瓦のズレ・破損



本堂東側の雨漏り



屋根下地面からの雨漏り



屋根下地面